現行の常時監視体制の見直し（案）

2. ダイオキシン類 常時監視体制(※1)

測定地点名称(※2)	行政区ごとの配分	大気環境濃度の解析(※7) (相関の高い測定地点)		大気汚染状況 (pg-TEQ/m ³)				環境基準の達成状況			存続・廃止	存続・廃止の主要な観点
		地点数	地点名称	19年度	20年度	21年度	平均	19年度	20年度	21年度		
1 福正寺	中央	2	千葉市役所(自排)、真砂公園	0.054	0.056	0.038	0.049	○	○	○	○	中央区の中で相関の高い測定地点が最も少ないことを重視し、存続させる。
2 千葉市埋蔵文化財調査センター※3		3	千葉市役所(自排)、福正寺、千葉市水道局	0.068	0.064	0.028	0.053	○	○	○	×	福正寺及び真砂公園との相関が高いことから、福正寺及び真砂公園を活用し、この地域における大気汚染状況の一体的・効果的な監視を図る。
3 千葉市役所(自排)		4	真砂公園、福正寺、千葉市埋蔵文化財調査センター、千葉市塵芥汚水処理場	0.052	0.058	0.036	0.049	○	○	○	×	福正寺及び真砂公園との相関が高いことから、福正寺及び真砂公園を活用し、この地域における大気汚染状況の一体的・効果的な監視を図る。 また、自動車排出ガスの影響と思われるような特段の高濃度状況は見られていない。
4 花見川第一小学校	花見川	2	山王小学校、真砂公園	0.052	0.056	0.035	0.048	○	○	○	○	花見川区における一般環境を継続して把握する地点として存続させる。
5 山王小学校	稲毛	2	花見川第一小学校、真砂公園	0.060	0.059	0.039	0.053	○	○	○	○	稲毛区における一般環境を継続して把握する地点として存続させる。
6 千城台北小学校	若葉	0	(なし)	0.054	0.043	0.046	0.048	○	○	○	○	若葉区の中で唯一、相関の高い測定地点がないことから、存続させる。
7 千葉市塵芥汚水処理場※4		5	千葉市役所(自排)、福正寺、千葉市水道局、真砂公園、千葉市埋蔵文化財調査センター	0.051	0.041	0.032	0.041	○	○	○	×	千葉市水道局との相関が高いことから、千葉市水道局を活用し、この地域における大気汚染状況の一体的・効果的な監視を図る。
8 千葉市農政センター※5		1	千葉市水道局	0.078	0.042	0.037	0.052	○	○	○	×	千葉市水道局との相関が高いことから、千葉市水道局を活用し、この地域における大気汚染状況の一体的・効果的な監視を図る。
9 千葉市水道局※6	緑	3	千葉市埋蔵文化財調査センター、千葉市塵芥汚水処理場、千葉市農政センター	0.063	0.034	0.035	0.044	○	○	○	○	緑区における一般環境を継続して把握する地点として存続させる。
10 真砂公園	美浜	5	千葉市役所(自排)、花見川第一小学校、山王小学校、福正寺、千葉市塵芥汚水処理場	0.048	0.046	0.032	0.042	○	○	○	○	美浜区における一般環境を継続して把握する地点として存続させる。

※1 ダイオキシン類は年2回、各々1週間(夏季・冬季、19年度までは4季)のサンプリングである。
 ※2 測定地点は、※3～※6以外の地点については、一般局・自排局と同地点である。
 ※3の所在地: 中央区南生実町1210。19年度春季までは明德学園測定局で測定。
 ※4の所在地: 若葉区谷当町630。16年度までは下泉水質観測局(若葉区下泉町)で測定。
 ※5の所在地: 若葉区野呂町714-3
 ※6の所在地: 緑区平川町2210
 ※7 平成11年度～20年度の年平均値をもとに算出した相関係数が0.9以上の測定地点を示す。